



平成20年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 三宅 鐵宏
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 経営企画部担当
氏 名 秀島 直樹
電 話 03-5436-3148

特別損失の発生および平成21年3月期第2四半期・通期業績予想の修正 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期第2四半期において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、その概要をお知らせするとともに平成20年5月15日付で発表いたしました平成21年3月期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）および通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の連結業績予想ならびに配当予想を修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 投資有価証券評価損

当社の連結財務諸表において、市場性の無い投資有価証券の評価について、投資先の将来収益が著しく低下することが予想され、尚且つ直近に当該投資先の株式公開が期待できないことならびに各投資先の純資産の状況から評価を見直した結果、投資有価証券評価損1,331百万円を特別損失として計上いたします。

(単位：百万円)

項目	連結	個別
投資有価証券評価損	1,331	831

(2) 貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額

当社の連結財務諸表において、与信に関わるリスク管理をより厳格に適用した結果、貸倒引当金繰入額1,720百万円を計上し、同時に当社が行っている債務保証に係る損失に備えるため、債務保証損失引当金繰入額543百万円をそれぞれ特別損失として計上いたします。

(単位：百万円)

項目	連結	個別
貸倒引当金繰入額	1,720	—
債務保証損失引当金繰入額	543	543

以上のことから、特別損失は、連結では3,624百万円、個別では1,375百万円を計上いたします。

また、上記の影響により、平成21年3月期第2四半期連結累計期間業績予想および平成21年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2. 平成21年3月期連結業績予想の修正について

(1) 平成21年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,800	△200	△205	△205
今回修正予想 (B)	7,238	17	43	△3,746
増減額 (B-A)	438	217	248	△3,541
増減率 (%)	6.5	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,404	△538	△360	△639

(2) 平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	15,300	400	340	200
今回修正予想 (B)	15,300	400	340	△3,540
増減額 (B-A)	0	0	0	△3,740
増減率 (%)	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	13,726	△430	△275	△1,090

3. 業績予想の修正の理由

(1) 平成21年3月期 第2四半期連結累計期間

平成21年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力のSMO事業が順調に進捗したことに加え、その他の各事業につきましても収益が概ね計画通り進捗したことにより、売上高は7,238百万円(期初予想比6.5%増)、営業利益は17百万円(期初予想は営業損失200百万円)、経常利益は43百万円(期初予想は経常損失205百万円)となりました。しかしながら、当期純損失は、前述の第2四半期における特別損失を計上した結果、3,746百万円(期初予想は当期純損失205百万円)となりました。

(2) 平成21年3月期 通期

平成21年3月期通期連結業績予想における売上高、営業利益、経常利益につきましては、期初に発表した予想に変更はありませんが、当第2四半期の業績を踏まえた結果、当期純損失は3,540百万円(期初予想は当期純利益200百万円)に修正をいたしました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. 平成21年3月期 期末配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	期 末	年 間
前回発表予想（平成20年5月15日）	100円00銭	100円00銭
今回修正予想	00円00銭	00円00銭
（ご参考）前期（平成20年3月期）	100円00銭	100円00銭

(2) 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本に、業績と企業体質強化及び今後の成長に向けた内部留保とを総合的に勘案した上で利益配分を決定しております。

この方針に基づき、平成21年3月期の期末配当金を1株当たり100円を予定しておりましたが、前述にありますように、平成21年3月期通期連結業績予想の修正を勘案し、誠に遺憾ながら当期の剰余金の配当につきましては、無配とさせていただきたいと存じます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、早期復配を目指して努力いたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上